

# 擧

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和6年 9月20日(金) Vol.20

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」  
「団結・協力を大切に」「命を大切に」

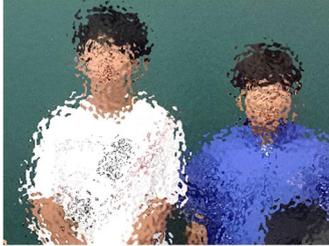


【ホームページへ】

## みんなでつくる理想の学校

※候補者・責任者の写真は、学級訪問で撮影したものです。

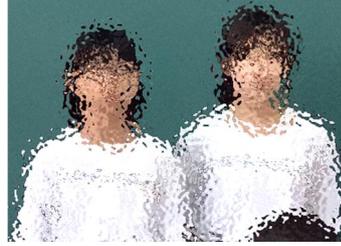
20日(金)、生徒会本部役員会の立会演説会と投票が行われました。9人の候補者は、推薦責任者とともに舞台上に立ち、中台中の魅力や、自分の理想、目標を訴え、支持を呼びかけました。



【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。挨拶など、全校生徒の手本になるような活動がしたい、と話しました】



【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。自由と規律を守ることの両立を訴え、風通しの良い環境を目指します】



【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。自身の経験から、行事を盛り上げ、笑顔あふれる学校づくりを呼びかけました】



【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。挨拶を活発にするために、具体的な努力目標を挙げて、丁寧に語りかけました】



【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。挨拶の活性化に向けて、ポスターなどを通して、輪を広げたいと語りました】



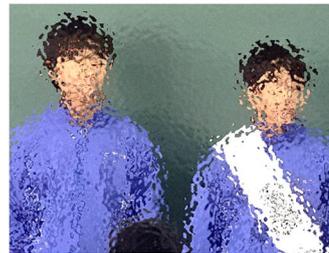
【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。挨拶に加えて、他学年との交流を通して絆を深めようと呼びかけました】



【役員候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。当たり前のことを当たり前に行える学校を目指し、4項目の推進を強調しました】



【会長候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。挨拶に加えて、時間を守ることや、互いに理解し合うことの大切さを訴えました】



【会長候補の〇〇さんと、責任者の〇〇さん。生徒全員が主役になれる学校づくりのために、挨拶などの活性化を強調しました】

9人とも、本校の成果と課題を捉えており、「もっと〇〇ができる学校にしたい」という理想のゴールを掲げ、「そのために、△△をしたい」と、具体的な方策を訴えています。どれも、生徒一人ひとりの意識がさらに高まることで実現できるものばかりだということが、演説から伝わってきました。

生徒会選挙は、いわば「間接民主制」。一人ひとりが直接行動を起こす代わりに、行動してくれる人を選び、思いを託します。つまり、投票することは、「一緒に頑張ろう。協力するよ」という有権者の意思表示なのです。

投票は、実際の選挙で用いられる投票箱と記入台を使用して、厳粛な雰囲気で行われました。選挙管理委員会による開票が直ちに行われ、来週早々には、結果が発表されます。どのような結果であっても、候補者や責任者が、それぞれの理想に向けて、一層努力していってくれることを、心から願っています。



【選挙管理委員長の〇〇さん】



【選挙管理委員から投票用紙を受け取って→考えて、選んで、記入して→投票完了】



# 給食で育つ子どもたち

12日(木)、家庭教育学級として、食育と給食の試食会が行われました。この日の講師は、給食センターの〇〇先生。栄養バランス、朝食の意義などの話題の他に、「食材が搬入されて、給食ができるまで」の説明があり、野菜のカットなどに手作業を多く取り入れていることなど、初めて知ることが多く、興味深く聞きました。

講話が終わったところで、保護者の皆さんが「玄武」から会議室に移動すると、用務員の〇〇さんが配膳を終えるところでした。それぞれ着席し、委員長さんの「いただきます！」の挨拶とともに、いよいよ、試食会の開始です。



【この日のメニューは……ミルクパン・チーズオムレツ・青菜のソテー・ポトフ・ヨーグルト・牛乳。八三ニキロカロリー】



保護者の皆さんは、ソテーやポトフ、オムレツを味わって食べる一方、紙パックの牛乳には、「ストローは無いんですか?」「このまま飲んでるんですか?」などの質問があり、軽い衝撃を受けた様子も見られました。教頭先生や〇〇先生が「ここを押して」「ここを開いて」とパックの開け方を説明するのを聞いて、開けてみて、「なるほど…」と納得したように、牛乳を飲む場面もありました。

この試食会での経験や気づきが、各家庭で食卓を囲む際に、また話題になったらしい、と感じました。

【「毎日食べに来たいです」「具たくさんでおいしいです」など、反応は上々です】

さて、当日の各学級の給食は、こんな様子でした。本校の生徒は、準備や片付けは協力的にテキパキと行い、食事は毎日穏やかな雰囲気の中で、給食を楽しんでいます。「おかわりジャンケン」に、積極的にチャレンジする生徒も多く、どのクラスも、活力が感じられます。



中学校を卒業すると、ほとんどの高校では、給食を実施していないようです。3年生にとっては、あと半年足らずの給食。よく噛みしめてほしいものです。

「同じ釜の飯を食う」という言葉があるように、ともに食卓を囲むことで生まれる関係性があります。気心の知れた者同士が仲を深めたり、まだなじみのない者同士が、互いにわかり合うようになってきたり。そう考えると、食事には、栄養補給の他にも、様々な意義があることが分かります。

機材のトラブルなどで、配食が止まったこともありました。毎日当たり前のように届けられる給食に、あらためて感謝し、しっかり食べて、さらなる成長を願うばかりです。

## 頑張れ！新人戦



【バスケット部・二十一日(土) 仲間との連携を大切に、全力が出せることを期待しています】